

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻「公認心理師」科目の読み替え表
(2020年2月6日付け 社会・臨床心理学専攻承認)

対象者：平成11年度から平成20年度の入学者(社会心理学専攻)

平成21年度から平成29年度の入学者(社会・臨床心理学専攻)

	受験資格特例の条件	領域	区分E及びF(法附則第2条第1項第3号及び4号)による受験に必要な科目	公認心理師の受験資格特例の条件に相当する開講科目(社会・臨床心理学専攻)	
				H27、H28、H29年度入学生 ((必)は必修科目)	H25、H26年度入学生 ((必)は必修科目)
I	右記Ⅰの5領域(1-5)のうち、3領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。 *すべて必修科目のため、本専攻の卒業生は全員単位修得している。	1	心理学概論	心理学概論Ⅰ(必) 心理学概論Ⅱ(必)	心理学概論Ⅰ(必) 心理学概論Ⅱ(必)
		2	臨床心理学概論	臨床心理学概論(必)	臨床心理学概論(必)
		3	心理学研究法	社会・臨床心理学研究法(必)	社会・臨床心理学研究法(必)
		4	心理学統計法	心理統計学(必)	心理統計学(必)
		5	心理学実験	社会心理学実験研究法(必)	社会心理学実験研究法(必)
II	右記Ⅱの7領域(6-12)のうち、4領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。 *本専攻では「社会心理学概論」が必修のため、たとえば「認知心理学」、「パーソナリティ」、「発達心理学」の単位を修得していれば4領域となり、条件を満たすことになる。しかし、「社会心理学概論」以外に、「家族心理学」、「コミュニティ心理学」、「障害者心理学」しか修得していない場合は、2領域にしかならないので特例の条件を満たさないことになる。	6	知覚・認知心理学	認知心理学 社会的認知の心理学	認知心理学 社会的認知の心理学
		7	学習・言語心理学	心理学特別セミナーA	心理学特別セミナーA
		8	感情・人格心理学	パーソナリティ	パーソナリティ
		9	神経・生理心理学	心理学特別セミナーB	心理学特別セミナーB
		10	社会・集団・家族心理学	社会心理学概論(必)	社会心理学概論(必)
				家族心理学 コミュニティ心理学 集団心理学	家族心理学 コミュニティ心理学 集団心理学
		11	発達心理学	発達心理学 人間の成長と心理 キャリア心理学セミナー(必)	発達心理学(児童の社会化) 人間の成長と心理 キャリア心理学セミナー(必)
III	右記Ⅲの4領域(13-16)のうち、2領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。	12	障害者・障害児心理学	障害者心理学	障害者心理学
		13	心理的アセスメント	心理検査学 心理検査法セミナー	心理検査学 心理検査法セミナー
		14	心理学的支援法	カウンセリングの理論 人間関係総論Ⅱ(必)	カウンセリングの理論 人間関係総論Ⅱ(必)
		15	心理演習	カウンセリングA(傾聴訓練) カウンセリングB(援助促進技法) グループワークA(集団形成) グループワークB(集団意志決定)	カウンセリングA(傾聴訓練) カウンセリングB(援助促進技法) グループワークA(集団形成) グループワークB(集団意志決定)
				該当なし	該当なし
IV	右記Ⅳの5領域(17-21)のうち、2領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。ただし、Ⅳの17 健康・医療心理学に相当する「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17とする場合はⅣの18-21の4領域のうち、2領域各1科目以上相当を修めること。ただし「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅣの17とⅤの17の両方の読み替え科目とすることはできない。また「逸脱行動論」をⅣの17として、「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17として読み替えることもできない。	17	健康・医療心理学	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス
		18	福祉心理学	該当なし	該当なし
		19	教育・学校心理学	教育心理学 教育相談	教育心理学 教育相談
		20	司法・犯罪心理学	犯罪と非行の心理学	犯罪と非行の心理学
		21	産業・組織心理学	該当なし	該当なし
V	右記Ⅴの2領域(22,23)のうち、1領域以上各1科目相当を修めること。ただし、Ⅳの17の健康・医療心理学に相当する「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17としても良い。ただし「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅣの17とⅤの17の両方の読み替え科目とすることはできない。また「逸脱行動論」をⅣの17として、「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17として読み替えることもできない。	17	健康・医療心理学	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス
		22	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ* 人体の構造と機能及び疾病Ⅱ* 女性と健康	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ* 人体の構造と機能及び疾病Ⅱ* 女性と健康
		23	精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ* 精神医学Ⅱ*	精神医学Ⅰ* 精神医学Ⅱ*

注意) *がついている科目は人間福祉学専攻の開講科目のため、他学科他専攻履修による単位修得になる。

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻「公認心理師」科目の読み替え表
(2020年2月6日付け 社会・臨床心理学専攻承認)

対象者：平成11年度から平成20年度の入学者（社会心理学専攻）
平成21年度から平成29年度の入学者（社会・臨床心理学専攻）

	受験資格特例の条件	領域	区分E及びF(法附則第2条第1項第3号及び4号)による受験に必要な科目	公認心理師の受験資格特例の条件に相当する開講科目(社会・臨床心理学専攻)	
				H24年度入学生 ((必)は必修科目)	H22、H23年度入学生 ((必)は必修科目)
I	右記Ⅰの5領域(1-5)のうち、3領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。 *すべて必修科目のため、本専攻の卒業生は全員単位修得している。	1	心理学概論	心理学概論Ⅰ(必) 心理学概論Ⅱ(必)	心理学概論Ⅰ(必) 心理学概論Ⅱ(必)
		2	臨床心理学概論	臨床心理学概論(必)	臨床心理学概論(必)
		3	心理学研究法	社会・臨床心理学研究法(必)	社会・臨床心理学研究法(必)
		4	心理学統計法	心理統計学(必)	心理統計学(必)
		5	心理学実験	社会心理学実験研究法(必)	社会心理学実験研究法(必)
II	右記Ⅱの7領域(6-12)のうち、4領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。 *本専攻では「社会心理学概論」が必修のため、たとえば「認知心理学」、「パーソナリティ」、「発達心理学」の単位を修得していれば4領域となり、条件を満たすことになる。しかし、「社会心理学概論」以外に、「家族心理学」、「コミュニティ心理学」、「障害者心理学」しか修得していない場合は、2領域にしかならないので特例の条件を満たさないことになる。	6	知覚・認知心理学	認知心理学	認知心理学
		7	学習・言語心理学	該当なし	該当なし
		8	感情・人格心理学	パーソナリティ	パーソナリティ
		9	神経・生理心理学	該当なし	該当なし
		10	社会・集団・家族心理学	社会心理学概論(必)	社会心理学概論(必)
				家族心理学 コミュニティ心理学 集団力学 認知社会心理学	家族心理学 コミュニティ心理学 集団力学 認知社会心理学
		11	発達心理学	発達心理学(児童の社会化) 人間の成長と心理	発達心理学(児童の社会化) 人間の成長と心理
		12	障害者・障害児心理学	障害者心理学	障害者心理学
III	右記Ⅲの4領域(13-16)のうち、2領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。	13	心理的アセスメント	心理検査学 心理検査法セミナー	心理検査学 心理検査法セミナー
		14	心理学的支援法	カウンセリングの理論	カウンセリングの理論
		15	心理演習	カウンセリングA(傾聴訓練) カウンセリングB(援助促進技法) グループワークA(集団形成) グループワークB(集団意志決定)	カウンセリングA(傾聴訓練) カウンセリングB(援助促進技法) グループワークA(集団形成) グループワークB(集団意志決定)
				該当なし	該当なし
IV	右記Ⅳの5領域(17-21)のうち、2領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。ただし、Ⅳの17 健康・医療心理学に相当する「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17とする場合はⅣの18-21の4領域のうち、2領域各1科目以上相当を修めること。ただし「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅣの17とⅤの17の両方の読み替え科目とすることはできない。また「逸脱行動論」をⅣの17として、「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17として読み替えることもできない。	17	健康・医療心理学	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス
		18	福祉心理学	該当なし	該当なし
		19	教育・学校心理学	教育心理学 教育相談	教育心理学 教育相談
		20	司法・犯罪心理学	犯罪と非行の心理学	犯罪と非行の心理学
		21	産業・組織心理学	組織心理学	組織心理学
V	右記Ⅴの2領域(22,23)のうち、1領域以上各1科目相当を修めること。ただし、Ⅳの17の健康・医療心理学に相当する「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17としても良い。ただし「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅣの17とⅤの17の両方の読み替え科目とすることはできない。また「逸脱行動論」をⅣの17として、「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17として読み替えることもできない。	17	健康・医療心理学	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス
		22	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ* 人体の構造と機能及び疾病Ⅱ* 女性と健康	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ* 人体の構造と機能及び疾病Ⅱ* 女性と健康
		23	精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ* 精神医学Ⅱ*	精神医学Ⅰ* 精神医学Ⅱ* 精神保健Ⅰ* 精神保健Ⅱ*

注意) *がついている科目は人間福祉学専攻の開講科目のため、他学科他専攻履修による単位修得になる。

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻「公認心理師」科目の読み替え表
(2020年2月6日付け 社会・臨床心理学専攻承認)

対象者:平成11年度から平成20年度の入学者(社会心理学専攻)
平成21年度から平成29年度の入学者(社会・臨床心理学専攻)

	受験資格特例の条件	領域	区分E及びF(法附則第2条第1項第3号及び4号)による受験に必要な科目	公認心理師の受験資格特例の条件に相当する開講科目(社会・臨床心理学専攻)	
				H21年度入学生((必)は必修科目)	
I	右記Ⅰの5領域(1-5)のうち、3領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。 *すべて必修科目のため、本専攻の卒業生は全員単位修得している。	1	心理学概論	心理学概論Ⅰ(必)	
				心理学概論Ⅱ(必)	
		2	臨床心理学概論	臨床心理学概論(必)	
		3	心理学研究法	社会・臨床心理学研究法(必)	
		4	心理学統計法	心理統計学(必)	
		5	心理学実験	社会心理学実験研究法(必)	
II	右記Ⅱの7領域(6-12)のうち、4領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。 *本専攻では「社会心理学概論」が必修のため、たとえば「認知心理学」、「パーソナリティ」、「発達心理学」の単位を修得していれば4領域となり、条件を満たすことになる。しかし、「社会心理学概論」以外に、「家族心理学」、「コミュニティ心理学」、「障害者心理学」しか修得していない場合は、2領域にしかならないので特例の条件を満たさないことになる。	6	知覚・認知心理学	認知心理学	
		7	学習・言語心理学	該当なし	
		8	感情・人格心理学	パーソナリティ	
		9	神経・生理心理学	該当なし	
		10	社会・集団・家族心理学	社会心理学概論(必)	
				家族心理学 コミュニティ心理学 集団力学 認知社会心理学	
		11	発達心理学	発達心理学(児童の社会化) 大人になるということー成長と成熟	
		12	障害者・障害児心理学	障害者心理学	
III	右記Ⅲの4領域(13-16)のうち、2領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。	13	心理的アセスメント	心理検査学 心理検査法セミナー	
		14	心理学的支援法	カウンセリングの理論	
		15	心理演習	カウンセリングA(傾聴訓練) カウンセリングB(援助促進技法) グループワークA(集団形成) グループワークB(集団意志決定)	
		16	心理実習(80時間以上)	該当なし	
IV	右記Ⅳの5領域(17-21)のうち、2領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。ただし、Ⅳの17健康・医療心理学に相当する「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17とする場合はⅣの18-21の4領域のうち、2領域各1科目以上相当を修めること。ただし「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅣの17とⅤの17の両方の読み替え科目とすることはできない。また「逸脱行動論」をⅣの17として、「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17として読み替えることもできない。	17	健康・医療心理学	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス	
		18	福祉心理学	該当なし	
		19	教育・学校心理学	教育心理学 教育相談	
		20	司法・犯罪心理学	犯罪と非行の心理学	
		21	産業・組織心理学	組織心理学	
V	右記Ⅴの2領域(22,23)のうち、1領域以上各1科目相当を修めること。ただし、Ⅳの17の健康・医療心理学に相当する「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17としても良い。ただし「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅣの17とⅤの17の両方の読み替え科目とすることはできない。また「逸脱行動論」をⅣの17として、「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17として読み替えることもできない。	17	健康・医療心理学	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス	
		22	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病Ⅰ* 人体の構造と機能及び疾病Ⅱ* 女性と健康	
		23	精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ* 精神医学Ⅱ* 精神保健Ⅰ* 精神保健Ⅱ*	

注意) *がついている科目は人間福祉学専攻の開講科目のため、他学科他専攻履修による単位修得になる。

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻「公認心理師」科目の読み替え表
(2020年2月6日付け 社会・臨床心理学専攻承認)

対象者：平成11年度から平成20年度の入学者(社会心理学専攻)
平成21年度から平成29年度の入学者(社会・臨床心理学専攻)

	受験資格特例の条件	領域	区分E及びF(法附則第2条第1項第3号及び4号)による受験に必要な科目	公認心理師の受験資格特例の条件に相当する開講科目(社会心理学専攻)	
				H20年度入学生((必)は必修科目)	H19年度入学生((必)は必修科目)
Ⅰ	右記Ⅰの5領域(1-5)のうち、3領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。 *すべて必修科目のため、本専攻の卒業生は全員単位修得している。	1	心理学概論	心理学概論(必)	心理学概論(必)
		2	臨床心理学概論	臨床心理学概論(必)	臨床心理学概論(必)
		3	心理学研究法	社会・臨床心理学研究法(必)	社会・臨床心理学研究法(必)
		4	心理学統計法	心理統計学(必)	心理統計学(必)
		5	心理学実験	社会心理学実験研究法(必)	社会心理学実験研究法(必)
Ⅱ	右記Ⅱの7領域(6-12)のうち、4領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。 *本専攻では「社会心理学概論」が必修のため、たとえば「認知心理学」、「パーソナリティ」、「発達心理学」の単位を修得していれば4領域となり、条件を満たすことになる。しかし、「社会心理学概論」以外に、「家族心理学」、「コミュニティ心理学」、「障害者心理学」しか修得していない場合は、2領域にしかならないので特例の条件を満たさないことになる。	6	知覚・認知心理学	認知心理学	認知心理学
		7	学習・言語心理学	該当なし	該当なし
		8	感情・人格心理学	パーソナリティ	パーソナリティ
		9	神経・生理心理学	該当なし	該当なし
		10	社会・集団・家族心理学	社会心理学概論(必)	社会心理学概論(必)
				家族心理学 コミュニティ心理学 集団力学 認知社会心理学	家族心理学 コミュニティ心理学 集団力学 認知社会心理学
		11	発達心理学	発達心理学(児童の社会化) 人間発達論(必) 大人になるということ ―成長と成熟	発達心理学(児童の社会化) 人間発達論 大人になるということ ―成長と成熟
		12	障害者・障害児心理学	障害者心理学	障害者心理学
Ⅲ	右記Ⅲの4領域(13-16)のうち、2領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。	13	心理的アセスメント	心理検査学 心理検査法セミナー	心理検査学 心理検査法セミナー
		14	心理学的支援法	カウンセリングの理論	カウンセリングの理論
		15	心理演習	カウンセリングA(傾聴訓練) カウンセリングB(援助促進技法) グループワークA(集団形成) グループワークB(集団意志決定)	カウンセリングA(傾聴訓練) カウンセリングB(援助促進技法) グループワークA(集団形成) グループワークB(集団意志決定)
				該当なし	該当なし
		16	心理実習(80時間以上)	該当なし	該当なし
Ⅳ	右記Ⅳの5領域(17-21)のうち、2領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。ただし、Ⅳの17 健康・医療心理学に相当する「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17とする場合はⅣの18-21の4領域のうち、2領域各1科目以上相当を修めること。ただし「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅣの17とⅤの17の両方の読み替え科目とすることはできない。また「逸脱行動論」をⅣの17として、「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17として読み替えることもできない。	17	健康・医療心理学	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス
		18	福祉心理学	該当なし	該当なし
		19	教育・学校心理学	教育心理学 教育相談	教育心理学 教育相談 学校問題とスクール・カウンセリング
		20	司法・犯罪心理学	犯罪と非行の心理学	該当なし
		21	産業・組織心理学	組織心理学	産業社会心理学 組織心理学
Ⅴ	右記Ⅴの2領域(22,23)のうち、1領域以上各1科目相当を修めること。ただし、Ⅳの17の健康・医療心理学に相当する「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17としても良い。ただし「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅣの17とⅤの17の両方の読み替え科目とすることはできない。また「逸脱行動論」をⅣの17として、「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17として読み替えることもできない。	17	健康・医療心理学	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス
		22	人体の構造と機能及び疾病	医学概論Ⅰ* 医学概論Ⅱ* 女性と健康	医学概論Ⅰ* 医学概論Ⅱ* 女性と健康
		23	精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ* 精神医学Ⅱ* 精神保健Ⅰ* 精神保健Ⅱ*	精神医学Ⅰ* 精神医学Ⅱ* 精神保健Ⅰ* 精神保健Ⅱ*

注意) *がついている科目は人間福祉学専攻の開講科目のため、他学科他専攻履修による単位修得になる。

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻「公認心理師」科目の読み替え表
(2020年2月6日付け 社会・臨床心理学専攻承認)

対象者：平成11年度から平成20年度の入学者(社会心理学専攻)
平成21年度から平成29年度の入学者(社会・臨床心理学専攻)

	受験資格特例の条件	領域	区分E及びF(法附則第2条第1項第3号及び4号)による受験に必要な科目	公認心理師の受験資格特例の条件に相当する開講科目(社会心理学専攻)	
				H18年度入学生((必)は必修科目)	H15、H16、H17年度入学生((必)は必修科目)
Ⅰ	右記Ⅰの5領域(1-5)のうち、3領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。 *すべて必修科目のため、本専攻の卒業生は全員単位修得している。	1	心理学概論	心理学概論(必)	心理学概論(必)
		2	臨床心理学概論	臨床心理学概論(必)	臨床心理学概論(必)
		3	心理学研究法	社会心理学調査研究法Ⅰ(必) 社会心理学調査研究法Ⅱ(必)	社会心理学調査研究法Ⅰ(必) 社会心理学調査研究法Ⅱ(必)
		4	心理学統計法	心理統計学(必)	心理統計学(必)
		5	心理学実験	社会心理学実験研究法Ⅰ(必) 社会心理学実験研究法Ⅱ(必)	社会心理学実験研究法Ⅰ(必) 社会心理学実験研究法Ⅱ(必)
Ⅱ	右記Ⅱの7領域(6-12)のうち、4領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。 *本専攻では「社会心理学概論」が必修のため、たとえば「認知心理学」、「パーソナリティ」、「発達心理学」の単位を修得していれば4領域となり、条件を満たすことになる。しかし、「社会心理学概論」以外に、「家族心理学」、「コミュニティ心理学」、「障害者心理学」しか修得していない場合は、2領域にしかならないので特例の条件を満たさないことになる。	6	知覚・認知心理学	認知心理学	認知心理学
		7	学習・言語心理学	該当なし	該当なし
		8	感情・人格心理学	パーソナリティ	パーソナリティ
		9	神経・生理心理学	該当なし	該当なし
		10	社会・集団・家族心理学	社会心理学概論(必)	社会心理学概論(必)
				家族心理学 コミュニティ心理学 集団力学 認知社会心理学	家族心理学 コミュニティ心理学 集団力学 認知社会心理学
		11	発達心理学	発達心理学(児童の社会化) 人間発達論 大人になるということー成長と成熟	発達心理学(児童の社会化) 人間発達論 大人になるということー成長と成熟
		12	障害者・障害児心理学	障害者心理学	障害者心理学
Ⅲ	右記Ⅲの4領域(13-16)のうち、2領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。	13	心理的アセスメント	心理検査学 心理検査法セミナー	心理検査学 心理検査法セミナー
		14	心理学的支援法	カウンセリングの理論	カウンセリングの理論
		15	心理演習	カウンセリングA(傾聴訓練) カウンセリングB(援助促進技法) グループワークAーⅠ(集団形成基礎) グループワークAーⅡ(集団形成応用) グループワークBーⅠ(集団意思決定基礎) グループワークBーⅡ(集団意志決定応用)	カウンセリングA(傾聴訓練) カウンセリングB(援助促進技法) グループワークA(集団形成) グループワークB(集団意志決定)
				該当なし	該当なし
		16	心理実習(80時間以上)	該当なし	該当なし
Ⅳ	右記Ⅳの5領域(17-21)のうち、2領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。ただし、Ⅳの17健康・医療心理学に相当する「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17とする場合はⅣの18-21の4領域のうち、2領域各1科目以上相当を修めること。ただし「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅣの17とⅤの17の両方の読み替え科目とすることはできない。また「逸脱行動論」をⅣの17として、「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17として読み替えることもできない。	17	健康・医療心理学	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス
		18	福祉心理学	該当なし	該当なし
		19	教育・学校心理学	教育心理学 教育相談 学校問題とスクール・カウンセリング	教育心理学 教育相談 学校問題とスクール・カウンセリング
		20	司法・犯罪心理学	該当なし	該当なし
		21	産業・組織心理学	産業社会心理学 組織心理学	産業社会心理学 組織心理学
Ⅴ	右記Ⅴの2領域(22,23)のうち、1領域以上各1科目相当を修めること。ただし、Ⅳの17の健康・医療心理学に相当する「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17としても良い。ただし「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅣの17とⅤの17の両方の読み替え科目とすることはできない。また「逸脱行動論」をⅣの17として、「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17として読み替えることもできない。	17	健康・医療心理学	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス
		22	人体の構造と機能及び疾病	医学概論Ⅰ* 医学概論Ⅱ* 女性と健康	医学概論*
		23	精神疾患とその治療	精神医学Ⅰ* 精神医学Ⅱ* 精神保健Ⅰ* 精神保健Ⅱ*	精神医学* 精神保健*

注意) *がついている科目は人間福祉学専攻の開講科目のため、他学科他専攻履修による単位修得になる。

大妻女子大学人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻(社会心理学専攻)「公認心理師」科目の読み替え表
(2020年2月6日付け 社会・臨床心理学専攻承認)

対象者:平成11年度から平成20年度の入学者(社会心理学専攻)

平成21年度から平成29年度の入学者(社会・臨床心理学専攻)

	受験資格特例の条件	領域	区分E及びF(法附則第2条第1項第3号及び4号)による受験に必要な科目	公認心理師の受験資格特例の条件に相当する開講科目(社会心理学専攻)	
				H12、H13、H14年度入学生 (必)は必修科目	H11年度入学生((必)は必修科目)
I	右記Ⅰの5領域(1-5)のうち、3領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。 *すべて必修科目のため、本専攻の卒業生は全員単位修得している。	1	心理学概論	社会心理学史(必)	社会心理学史(必)
		2	臨床心理学概論	臨床社会心理学	臨床社会心理学
		3	心理学研究法	社会心理学調査研究法(必) 社会心理学調査講義(必)	社会心理学調査研究法(必) 社会心理学調査講義(必)
		4	心理学統計法	基礎統計学 行動計量学	基礎統計学 行動計量学
		5	心理学実験	社会心理学実験研究法Ⅰ(必) 社会心理学実験研究法Ⅱ(必)	社会心理学実験研究法Ⅰ(必) 社会心理学実験研究法Ⅱ(必)
Ⅱ	右記Ⅱの7領域(6-12)のうち、4領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。 *本専攻では「社会心理学概論」が必修のため、たとえば「認知心理学」、「パーソナリティ」、「発達心理学」の単位を修得していれば4領域となり、条件を満たすことになる。しかし、「社会心理学概論」以外に、「家族心理学」、「コミュニティ心理学」、「障害者心理学」しか修得していない場合は、2領域にしかならないので特例の条件を満たさないことになる。	6	知覚・認知心理学	認知心理学 認知心理学セミナー	認知心理学 認知心理学セミナー
		7	学習・言語心理学	該当なし	該当なし
		8	感情・人格心理学	パーソナリティ	パーソナリティ
		9	神経・生理心理学	該当なし	該当なし
		10	社会・集団・家族心理学	社会心理学概論(必) コミュニティ心理学 集団力学 集団力学セミナー リーダーシップ	社会心理学概論(必) コミュニティ心理学 集団力学 集団力学セミナー リーダーシップ
		11	発達心理学	発達心理学(児童の社会化) 人間発達論 大人になるということー成長と成熟	発達心理学(児童の社会化) 人間発達論 大人になるということー成長と成熟
		12	障害者・障害児心理学	障害者心理学	障害者心理学
Ⅲ	右記Ⅲの4領域(13-16)のうち、2領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。	13	心理的アセスメント	パーソナリティセミナー 臨床社会心理学セミナー	パーソナリティセミナー 臨床社会心理学セミナー
		14	心理学的支援法	カウンセリングの理論	カウンセリングの理論
		15	心理演習	カウンセリングA(傾聴訓練) カウンセリングB(援助促進技法) グループワークA(集団形成) グループワークB(集団意志決定)	カウンセリングA(傾聴訓練) カウンセリングB(援助促進技法) グループワークA(集団形成) グループワークB(集団意志決定)
		16	心理実習(80時間以上)	該当なし	該当なし
Ⅳ	右記Ⅳの5領域(17-21)のうち、2領域以上で1領域各1科目以上相当を修めること。ただし、Ⅳの17健康・医療心理学に相当する「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17とする場合はⅣの18-21の4領域のうち、2領域各1科目以上相当を修めること。ただし「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅣの17とⅤの17の両方の読み替え科目とすることはできない。また「逸脱行動論」をⅣの17として、「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17として読み替えることもできない。	17	健康・医療心理学	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス
		18	福祉心理学	ソーシャル・サポート論	ソーシャル・サポート論
		19	教育・学校心理学	学校問題とスクール・カウンセリング	学校問題とスクール・カウンセリング
		20	司法・犯罪心理学	該当なし	該当なし
		21	産業・組織心理学	産業社会心理学 組織心理学	産業社会心理学 組織心理学
Ⅴ	右記Ⅴの2領域(22,23)のうち、1領域以上各1科目相当を修めること。ただし、Ⅳの17の健康・医療心理学に相当する「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17としても良い。ただし「逸脱行動論」「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅣの17とⅤの17の両方の読み替え科目とすることはできない。また「逸脱行動論」をⅣの17として、「キャンパスライフとメンタルヘルス」をⅤの17として読み替えることもできない。	17	健康・医療心理学	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス	逸脱行動論 キャンパスライフとメンタルヘルス
		22	人体の構造と機能及び疾病	医学概論*	医学概論*
		23	精神疾患とその治療	精神医学* 精神保健* 都市環境と精神保健	精神保健* 都市環境と精神保健

注意) *がついている科目は人間福祉学専攻の開講科目のため、他学科他専攻履修による単位修得になる。